

3 Out

Cricket Rule Book

クリケットルールブック

ウィケットにボールをあてることがアウトの基本です。ウィケットが倒れなくともスタンプ上からバیلが落ちた時点でアウトになります。
クリケットには10種類のアウトがありますがここでは試合中によく見られるものを紹介します。

Bowled ボウルド

投球がウィケットを倒した場合

空振りして直接ウィケットにボールがあたった場合とバットにあたったボールが前に飛ばずウィケットにあたった場合。



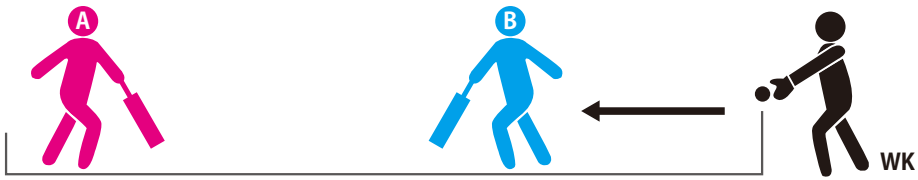
Caught コウト

打球をノーバウンドで
フィールダーがキャッチした場合

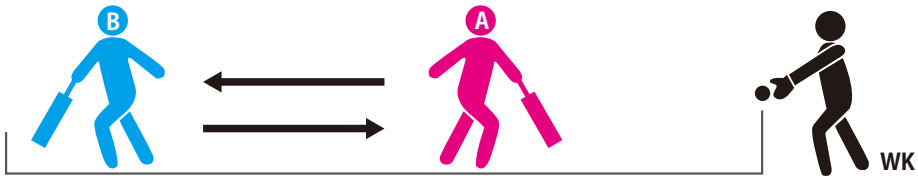
Run Out
ランアウト

クリース内にバッツマンがたどり着く前にウィケットを倒された場合

フィールダーから返球されたボールが直接ウィケットにあたっても、
捕球したフィールダーがボールを持っている手でウィケットを倒してもどちらでも構わない。



交代してないのでBがアウト



交代しているのでAがアウト



Stumped スタンプト

ストライカーがクリースから出て打ちに行き、結果として空振りをした場合に、バッツマンがクリース内に戻る前にウィケットキーパーがウィケットを倒した場合。ランナウト同様にキーパーはボールで直接ウィケットにあてるか、ボールを持っている手で倒せばアウトです。またバッツマンは足かバットを倒される前にクリース内に入れればOKです。



その他に、

L.B.W. (エルビーダブリュー)

Hit Wicket (ヒットウィケット)

Hit The Ball Twice (ヒットザボールトゥワイス)

Handled The Ball (ハンドルドザボール)

Timed Out (タイムドアウト)

Obstructing The Field (オブストラクティングザフィールド)

があります。

Appeal
アピール

アウトの判定が必要なものに関しては全てアンパイアに判定を求めます。

「How's That?(ハウザット)」

これは「How was that, Mr.Umpire?」という意味です。

このアピールの結果、アンパイアがアウトのサインを示したときに初めてアウトとなります。逆に言えばアウトのサインを出さなければアウトではないということです。



アウトを判定するのはアンパイアです。むやみにアピールしたり、アンパイアの判定に異議を申し立てたり中傷したりするのはクリケットの精神に反するので絶対にやめましょう。

また、新しいバッツマンがフィールド内に入ってきたときや、いいプレーをした選手には敵味方関係なく拍手を送る習慣があることもお忘れなく。

